

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
特別講義Ⅱ Special Lecture Ⅱ		情報メディア学科 (社会人学生対象)	1・2年次	後期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
講義	2	選択	日置 智子	
概要				
表計算ソフトの機能と基本的な操作方法およびインターネットの利用法について学ぶ。				
到達目標				
(1) 表計算ソフトの基本的な操作ができる。 (2) 表計算ソフトの色々な機能を活用してデータ処理が行える。 (3) インターネットの利用法について説明することができる。				
授業内容とすすめ方				
1 オリエンテーションー表計算ソフトの基本操作ー 2 データの入力と表の作成 3 表の編集 4 グラフの作成 5 基本的な計算式の入力 6 絶対参照と相対参照 7 関数の利用①ー条件の指定ー 8 関数の利用②ー複数の条件の指定ー 9 関数の利用③ー統計処理ー 10 データベースとしての利用①ーデータの抽出ー 11 データベースとしての利用②ーデータの順位付けと並べ替えー 12 差し込み印刷①ーはがきの宛名印刷ー 13 差し込み印刷②ー宛名ラベルの作成ー 14 インターネットの利用 15 総合応用問題				
テキストおよび 参 考 文 献	テキスト：なし 適宜資料を配布			
メ ッ セ ー ジ な ど				

ルーブリック評価を用いた成績評価						
到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1) 表計算ソフトの基本的な操作ができる。	ほぼ完璧に操作ができる。	大きな間違いがなく、操作ができる。	間違いはいくつかあるが、最低限の操作はできる。	操作ができない。	授業への取り組み（知識・理解・思考力・判断力）	20%
(2) 表計算ソフトの色々な機能を活用してデータ処理が行える。	ほぼ完璧にデータ処理が行える。	大きな間違いがなく、データ処理が行える。	間違いはいくつかあるが、最低限のデータ処理は行える。	データ処理が行えない。	授業への取り組み・課題レポート（知識・理解・思考力・判断力）	70%
(3) インターネットの利用法について説明することができる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の説明はできる。	説明できていない。		10%